

エネルギー環境 教育のひろは

北海道エネルギー環境
教育研究委員会
広報部会
2012/3/12発行
第25号



創立十周年記念式典・祝賀会開催

二月十八日（土）、ホテルライフォート札幌を会場に、北海道エネルギー環境教育研究委員会創立十周年記念式典・祝賀会が開催され、百名を超える方々が集い、盛会のうちに終了いたしました。

創立十周年記念式典

冒頭、吉吞正美委員長より、次のような挨拶がありました。

委員長挨拶 要旨

本研究委員会が創立十周年記念式典を挙行できることを大変光栄に思う。平成十四年二月にエネルギー環境教育の推進を目的に活動が始まった。十年間を振り返るとエネルギー環境教育の系統的な研究と授業実践、エネルギー環境関連施設の視察研修、研究大会の開催、情報発信、組織並びに会員の



北海道エネルギー環境教育研究委員会
委員長 吉吞 正美

拡大等幅広い活動を行ってきた。

研究部会・開発部会・広報部会では、年間計画に沿って業務を分担し、部会や運営委員会で検討を重ねてきた。また、道南支部・道東支部・旭川支部を結成し全道規模の組織体制も確立した。

平成十八年十一月に第一回研究大会が札幌市立西岡北小学校で行われた。その後、平成二十年度には第二回研究大会が、函館市立駒場小学校、平成二十一年度には札幌市立篠路小学校で第三回研究大会を開催した。平成二十三年十一月には創立十周年を記念する第四回北海道エネルギー環境教育研究大会札幌大会を札幌市立中央中学校で開催した。小学校三授業、中学校四授業、高等学校一授業を公開し全道より二百五十名を超える参加があった。

現在、約三百名の会員が所属

し、子どもたちのためのエネルギー環境について教科、校種の枠を超えた熱心な研究が行われ、全国でも類を見ない研究団体に成長できたことを嬉しく思う。

さて、東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故は、我が国のエネルギー問題や環境問題の認識や状況を一変させる出来事であった。本研究委員会ではこのような状況を正しく判断し、グローバルな視点に立ったエネルギー環境教育の目標を明確にし、変化に対応できる適切な研究と実践を推進していきたいと思う。

本研究委員会が今後目指すことは、次代を担う子どもたちに21世紀を生き抜く確かな力を身に付けさせること、持続可能な社会の実現に向けて子どもたちがエネルギー問題、環境問題を自分ごととしてとらえ、解決のために自らの意思で決定し、行動できる人間へと育むことである。

本研究委員会は、さらなる飛躍を期すために十年間の成果と実績を礎に、エネルギー環境教育について熱い議論ができる機会を設定し、子どもたちが自らの考えや思いを交流する授業の構築と実践の機会を保障するための環境整備の充実にも努めていきたい。

皆様には今後とも本会への変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



北海道教育委員会
学校教育局次長
菅沼 肇 様

委員長挨拶のあと、来賓の紹介があり、続いて、来賓を代表して左記の三名の方からご挨拶をいただきました。

・北海道教育委員会

北海道教育庁 学校教育局次長

菅沼 肇 様

・札幌市教育委員会

学校教育部 学校教育部長

金山 正彦 様

・北海道エネルギー環境教育研究委員会

初代委員長

作原 逸郎 様

この後、「創立十周年の軌跡」と題して、創立からの歴史をスライドで振り返りました。優しいオルゴールの音色のBGMをバックに数々の懐かしい貴重な写真が映し出され、本会の研究実践を振り返ることができた事と思います。

創立十周年記念

パネルディスカッション

休憩をはさみ、「これからの十年を展望する」をテーマに、創立十周年記念パネルディスカッションが開催されました。

パネリスト

・文部科学省初等中等教育局
視学官

日置 光久 様

・北海道エナジートーク 21
前常務理事

高柳 和明 様

・北海道エネルギー環境教育研究委員会 第三代委員長

鳥居 正年 様

コーディネーター

・北海道エネルギー環境教育研究委員会 幹事長

稲重丸 裕 様



創立 10 周年の軌跡
(スライド上映)
広報部作成



創立10周年記念
パネルディスカッション

稲童丸幹事長がコーディネーターを務め、「これからの十年を展望する」について、パネルディスカッションがスタートしました。初めに北海道エナジートーク21前常務理事高柳和明様より、本研究委員会の活動趣旨は、原子力推進ではなくエネルギー環境について、子どもたちに公平に考える推進役となるために発足したという経緯やその時の苦労、各教育委員会のご支援等について話がありました。

次に、第三代委員長鳥居正年様より、第一回研究大会までの苦労や函館の研究大会の思い出、組織拡大の経過について話があり、続いて、文部科学省初等中等教育局視学官日置光久様より、お話をいただきました。

日置様からは幼稚園からの新学習指導要領の中でエネルギー環境教育に関する記述の解説を冒頭にいただき、保護から保全へと発想



文部科学省
初等中等教育局 視学官
日置 光久様

の転換をはかっていく必要性やエネルギーを柱とした内容構成の把握についてもご説明いただきました。理科の内容「エネルギー」について、小学校では電気について三年生から六年生まで毎年学習する構成内容を重点化していることや中学校三年生で持続可能なエネルギーを学ぶ機会を設けた意図について聞くことができました。パネリストからのお話の後、フロアーからも「エコをどのように組み入れたらよいか」「放射線教育をどのように進めるとよいか」等の質問が多数出され、パネリストからは質問に対する確なお話をいただき、予定時間を超過する白熱したパネルディスカッションとなりました。

最後にコーディネーターの稲童丸幹事長より本研究委員会はこれからも最新の情報をもとに「エネルギー環境」を切り口に、新しい教材を開発し、子どもたちの思考力を高めたいかなければならないというまとめで終了しました。

創立十周年記念祝賀会

祝賀会では、吉吞委員長挨拶の後、ご来賓を代表して、文部科学省初等中等教育局 視学官日置光久様、元札幌市教育委員会教育次長 本間英昭様よりご挨拶をいただきました。

その後、本研究委員会発足に多大なるご尽力をいただいた原一夫様の乾杯のご発声で和やかに祝宴が始まりました。

宴の中では、創立当時の様子や思い出話を初代委員長作原逸郎様、第二代委員長遠藤紘之助様、元調査部会長日野宣洋様よりいただきました。その後も会場のあちこちで思い出話に花が咲き、大変楽しいひと時となりました。

会の最後に本研究委員会大学代表の杉山憲一郎様より「これからのエネルギー環境教育をどう進めるかが重要であり、本研究委員会に期待したい」というエールをいただき、祝賀会を閉会しました。



祝賀会
祝杯 原 一夫 様

勉強会開催 演題「今後のエネルギー環境教育について」

放射線教育について

昨年十二月四日(日)ホテルライフオーソ札幌において勉強会が開催されました。

はじめに、北海道大学工学部大学院特任教授杉山憲一郎様より右記の演題にてご講演をいただきました。本研究委員会の今後のあり方について示唆に富んだお話をお聞きすることができました。

続いて、本研究委員会研究部高橋伸充(平岸中)より創立十周年記念研究大会札幌大会の報告がなされました。

最後に、今後の本研究委員会のエネルギー環境教育の在り方についてグループ討議が行われ、研究大会の授業や仮説の具現化などの視点で見つめて思うことの重要性について具体的に話し合われました。



平成二十四年度 総会のお知らせ

日時 五月一九日(土) 十三時

場所 ホテルライフオーソ札幌

新年度の総会日程は、右記の通りです。総会後には、講演会の開催を予定しております。

なお、本研究委員会の十年を振り返る、「創立十周年記念誌」が広報部会を中心に編纂され、当日までに完成し皆様へ配布する予定ですので、是非とも大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

新規会員募集

入会無料です。会員登録をご希望の方は、左記の連絡先まで電話・メールで随時お申し込みください。

北海道エネルギー環境教育研究委員会

連絡先
北海道エナジートーク21

札幌市中央区北1条西5丁目
北1条三井ビル2F
TEL 011(251)9710
FAX 011(251)3974

<http://www.enetalk21.gr.jp>